



杉並区立沓掛小学校運営協議会だより

杉並区立沓掛小学校運営協議会会長 近藤真司

令和4年度第4回沓掛小学校運営協議会報告(令和4年7月12日)

◆会長挨拶・・コロナが大分増えてきて気をつけないといけないということです。

◆校長挨拶・・足下の悪い中、お越しいただきましてありがとうございます。

【学事報告】6月23日杉並公会堂で6年生の音楽鑑賞教室。素敵演奏でした。子供達の鑑賞態度も立派。24日は4年生の自転車教室、25日は土曜公開授業を実施。7月5日の不審者侵入時対応訓練では、荻窪警察のスクールサポーターの方から説明を受けました。5日から7日まで天沼中2年生3名が職場体験。子供達から大人気でした。7日は松原農園で6年生がジャガイモの収穫。9日は土曜公開授業を実施。

【諸事報告】校門の門扉の工事が7月から8月にかけて行なわれます。9月から警備員の配置は登下校時のみとなります。校庭のプラタナスや銀杏などの木は現状どおり、周囲のみ修繕となります。学校施設開放と夜間照明の時間は近隣の方に迷惑をかけないように時間制限をしていく予定です。通学路沿いに危険なブロック塀がありましたら情報提供をお願い致します。区の整備課の方へ連絡致します。

◆報告事項(委員より土曜授業等参観報告)

- ・授業は、どの学年もきちんと取り組んでいました。ふれあいフライデーを見学し素晴らしいと思いました。そこには沓掛小が大切にしている、「かがやく瞳と笑顔」があふれていました。コロナ禍で他者とのつながりが稀薄になりつつあります。子供達の心を育む為にもクラスを超えた他学年の子供や地域の方とのふれあいを大切にしてください。改めて沓掛小の教育内容と支援本部の活動が優れていることに気付きました。
- ・3・4年生の総合「地域・安全マップ」を見学し、危険というものを、人に対する危険を中心に考えているようでしたが、物に対する危険、例えば生け垣のサザンカにいる茶毒蛾に対する危険等も教える必要があるのではないかと思います。
- ・久しぶりに小学校の授業を見学しました。昔は先生方が一方的に話されていましたが、どこの学年でも先生と子供の双方向のやりとりがあり、距離感が近くなっているように感じました。税務署の方の授業は、学校の先生から教わる授業と違い、子供達が興味を持って聞いていたようです。
- ・5・6年生の総合でKDDIの話を体育館で聞きました。話が上手なので子供達は静かに集中して聞いていました。スマホの危険性についてでしたが、家で親が注意するよりも効き目があるように思いました。
- ・教室での授業では、以前は全員が前を向いていましたが、今回はソーシャルディスタンスをとってグループ討論をしているクラスも多くありました。コロナとの付き合い方が進化しているようです。3・4年生の総合の時間は、説明を担当する学年と、それを聞く学年で参加できる保護者の数に違いが見られました。

◆協議事項

(1)70周年記念屋上サインについて

看板の書体は、角ゴシック体で作成し、70年目に入った適当な時期に掲げる事になりました。

(2)3校合同学校運営協議会「特色ある教育活動」の紹介資料確認

校長先生が学校経営計画に上げられた5つの教育活動に、沓掛小の特別な活動として

「30分中休み」「ふれあいフライデー」「畑での栽培活動」「吹奏楽団」を加えて説明することになりました。

(3)9月10日(土)道徳地区公開講座について

道徳地区公開講座及びその後行なわれる意見交換会への参加の呼びかけがありました。

次回は9月13日(水) 17:00～ 於：開放会議室 傍聴希望者は副校長へ
